

(様式第7号)

地域の課題解決のための活動報告

記入日：令和 5年 6月 14日

作成者： 梅野 欽二

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的な数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
さんさん会	
事業名	日時（期間），場所
ボランティア 花壇整備	市立芦屋病院 令和4年4月～令和5年3月 毎月2回
内容（実績）*実施したことを具体的に	受益者数
市立芦屋病院の花壇で、毎月2回、草抜きや花がら摘み等の整備を行なっています。季節に合わせて花の植替を行い、必要に応じて	通院する市民や近隣の方、また入院

<p>水やりを交代で行ないます。前年度に県民街並み緑化事業の助成を受けて、手つかずだった南玄関前の花壇も整備されたので、手入れをする担当範囲が大幅に増加しましたが、皆さんに喜んで貰える美しい花壇を維持するよう頑張っています。</p>	<p>中のご家族や病院関係者の方々</p> <p>(100名 + α) 人</p>
	<p>参加者数</p>
	<p>(延べ 90 名) 人</p>

成果（社会へのインパクト）*どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に

令和 4 年 5 月に行なわれた芦屋市花と緑のコンクールでコミュニティ花壇（グループ）部門賞を受賞。更に 11 月には当該ボランティア活動が兵庫県知事賞（くすのき賞）を受賞しました。私たちの活動が少しずつ対外的にも認知、評価されてきたことをうれしく思っています。

花壇に咲いている花をみると、自然に笑みがこぼれ、心が癒される方も多いと思います。愛情込めて手入れされている花壇は、季節の変化が感じられ、通院する方や入院している方、ご家族の慰めや癒しになっていることでしょう。

手入れしている私たちもこの活動は屋外で三密を避けられてできました。コロナ禍の中で奮闘されている病院関係者に感謝の思いを、花で届けられたらとも思いました。

今後の展望（どのように継続、発展するか）

継続して手入れされた美しい花壇は、季節の変化を楽しむことができ、また花にまつわり笑顔で地域交流ができます。はじめは小さくて、少ししか咲いていなくても、徐々に変化、成長していく花たちに希望を感じることができます。そんな楽しさを知り、誘い合っ
て活動するメンバーが増えてきています。